

経営比較分析表

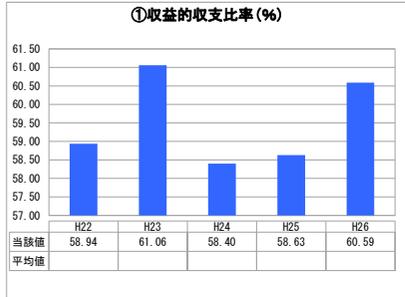
佐賀県 伊万里市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	53.09	83.07	3,420

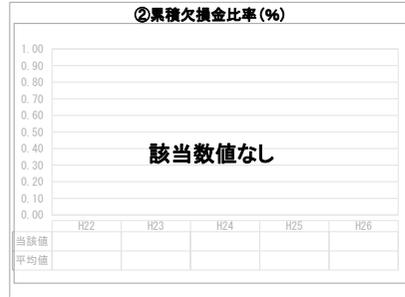
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,934	255.28	223.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,031	10.44	2,876.53

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

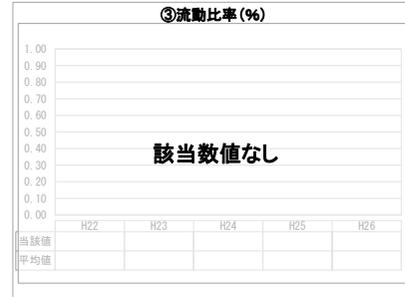
1. 経営の健全性・効率性



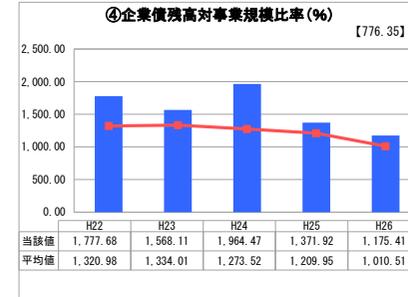
「単年度の収支」



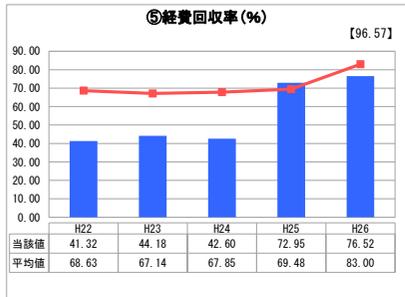
「累積欠損」



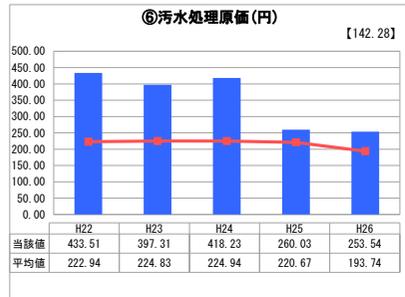
「支払能力」



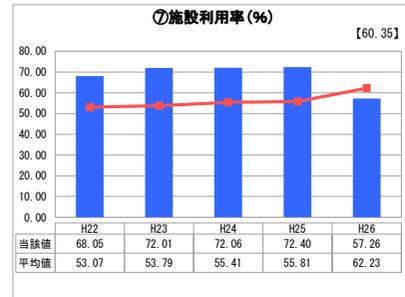
「債務残高」



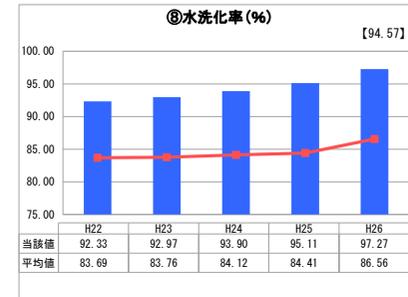
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

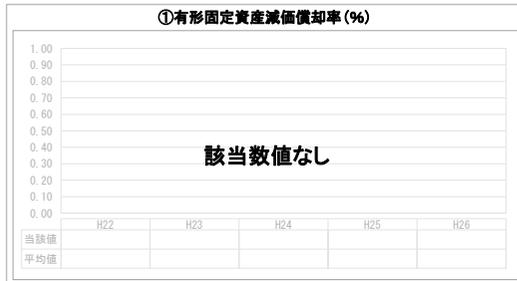


「施設の効率性」

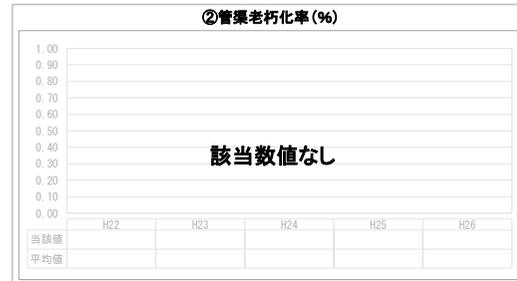


「使用料対象の捕捉」

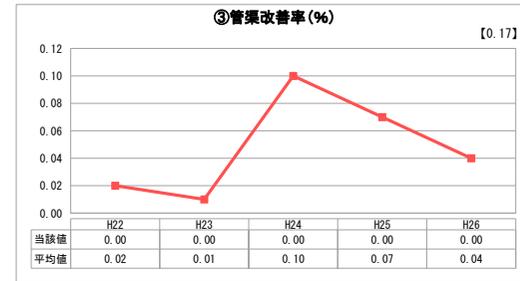
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の公共下水道事業は料金収入と一般会計からの繰入金によって、維持管理費、地方債の償還金を賄いきれない状況が続いており、収益的収支比率が60%前後で推移するなど厳しい状況が続いている。

このため、収入面では水洗化率の向上を図るとともに、料金単価の見直しも今後検討するなど、収入の確保に努めていく必要がある。

また、支出面では長寿命化対策を計画的に行うことで維持管理費等の削減に努めていくことが必要である。

2. 老朽化の状況について

昭和63年度の供用開始から27年が経過し、老朽化が進んでいる施設もあることから、各施設の長寿命化計画を作成し、計画的に長寿命化対策を実施することとしている。

全体総括

料金収入と一般会計繰入金では、維持管理費、地方債の償還金を賄いきれない状況が続いている。

また、今後は、施設の老朽化対策等による支出が増加していく見込みである。

このため、維持管理費等の経常費用を削減するとともに、水洗化率の向上と料金単価の見直しによる料金収入の増加を図り、経営の健全化に努めたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。